

ロボット支援下臍手術を受けられた臍腫瘍の患者さんの診療情報等を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	ロボット支援下膵体尾部切除における出血ポイントとその止血のコツ				
研究実施機関の研究責任者	九州医療センター 肝胆膵外科 播本憲史				
研究の背景	従来のお腹を開ける開腹術にくらべ患者のメリットが大きいとされるため、近年膵腫瘍に対するロボット支援下膵切除がひろく行われてきています。導入初期のロボット支援下膵切除の成績は検証されていません。				
研究目的	今回、当科で膵腫瘍に対しロボット支援下膵切除を行った症例の周術期治療成績についての検討を行います。				
研究実施期間	【調査対象期間】2021年4月1日から2025年7月31日までに当科で膵腫瘍に対してロボット支援下膵切除を受けた方の退院までの術後経過を調査します。 【研究期間】倫理審査委員会承認後から2026年4月30日まで				
研究の方法	【対象となる方】 2021年4月1日から2025年7月31日までに当科でロボット支援下膵切除を受けた膵腫瘍患者 【調査方法】 診療録から情報を収集して、解析します。 【研究に利用する診療情報】 <table><tr><td>☐年齢 ☐性別</td></tr><tr><td>☐画像データ【術前CT】</td></tr><tr><td>☐有害事象【副作用・合併症の発生等】</td></tr><tr><td>☐その他【術中ビデオ、術式、手術時間、出血量】</td></tr></table> 【情報等の管理】 ●情報の管理責任者 九州医療センター 肝胆膵外科 科長 播本憲史	☐ 年齢 ☐ 性別	☐ 画像データ【術前CT】	☐ 有害事象【副作用・合併症の発生等】	☐ その他【術中ビデオ、術式、手術時間、出血量】
☐ 年齢 ☐ 性別					
☐ 画像データ【術前CT】					
☐ 有害事象【副作用・合併症の発生等】					
☐ その他【術中ビデオ、術式、手術時間、出血量】					
個人情報の取扱い	情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所な				

	ど、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。	
研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。	
	相談窓口	九州医療センター 肝胆脾外科（職名：科長） 播本憲史 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700